

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者保健福祉施策の推進		款	4	項	1	目	2	事業	6	整理番号	146			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	3242		昨年度整理番号	139				
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分				既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業 分野		2	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	4	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 介護保険法 (2)							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○高齢化社会の抱える課題に対し、総合的な検討を行い、施策立案に向けた取り組みや計画の策定を行う。		活動指標名(式)		(1) 高齢者実態調査 (調査1件にかかる費用:総歳出経費/調査件数) (2) 第4介護保険事業計画(冊子印刷部数)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○介護保険事業計画の策定(23年度) ○高齢者実態調査(22年度) ○「高齢者のしおり」の発行(21年度) ○孤立死防止推進事業への取り組み		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民意見(件) 算定式・指標の説明等 計画に寄せられた件数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	円	461	0	0	0	0	0	514	0.0					
	活動指標(2)	②	部	0	1,500	1,500	0	0	0	0						
	成果指標(1)	③	件	0	50	32	0	0	0	0						
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,482	12,988	11,300	20,891	18,245	7,394	21年度予算執行率%		87.3				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	4,120	8,640	8,171	9,478	8,680	5,820							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.19 0.00	3.20 0.00	3.28 0.00	3.20 0.00	3.41 0.00	3.20 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	29,157	28,960	29,684	28,413	30,277	28,413						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	39,639	41,948	40,984	49,304	48,522	35,807							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	85,985	0	0	0	0	69,663							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	39,639	41,948	40,984	49,304	48,522	35,807							
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 146

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	孤立死防止推進事業				100
	「高齢者のしおり」の発行	95000	部		17,130
	管理事務費				1,015
	その他 (高齢者施策の普及啓発、長寿応援事業検討会)				0
	(2)事業実績	高齢者が介護が必要になっても生活できる環境づくりや生活支援、また生涯現役でいきいきとした生活を送ることを支援するため、「高齢者のしおり」を作成し、身近なサービスを理解し、適切なサービスを利用していただくことにより安全と安心感を高めました。また、孤立死防止推進事業については、現状の調査を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者人口(高齢化率):昭和63年 57,858人(11.07%)⇒平成21年 102,723人(19.04%) ひとりぐらし高齢者:昭和63年 2,546人⇒平成21年 18,182人 介護保険認定者数:平成12年度 8,653人⇒平成22年度 18,697人			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者のしおりについて、外国版を作成してほしいという意見がありました。			
	今後の予測	団塊の世代が高齢化により元気な高齢者が増えるとともに、ひとり暮らしの世帯等が増加するものと思われま。す。今後は、高齢者が生涯現役でいきいきとした生活を送るための支援がより必要と思われま。す。サービスの利用促進を図るため、今後とも区からの情報提供の重要性は増すものと思われま。す。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	理由:介護保険事業計画は介護保険法に基づくものであり、今後3年間の保険料を算定する資料です。また、高齢者のしおりは、保険福祉サービスにかかる総合的、体系的な情報提供のためには不可欠です。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	介護保険事業計画の見直し検討の状況を知らせることで、区民意見が反映されます。また、身近にあるケア24で情報提供が行われていますが、ケア24の存在をさらに浸透させる必要があります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益者負担はありません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	介護保険事業計画の報告書は、庁内印刷で行っているため経費はかかっていません。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	○「高齢者のしおり」を作成し、配布したことにより、区のサービスを理解し、適切なサービスを利用していただくことにより安全と安心感を高めました。 ○今後も進展する高齢化に対し、在宅生活を支える施設等の整備、在宅療養支援体制の充実及び孤立死防止対策等への更なる取り組みが必要です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	「高齢者のしおり」については、広告収入を得て発行し、経費の削減に努めています。 「孤立死防止推進事業」は、地域の見守り体制の再構築の検討を待って、施策の充実のための検討する予定です。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	「高齢者のしおり」については、24年度に発行する予定であり、今後とも広告収入を増やす方向で手を尽くし、経費の削減に努めます。 23年度に改定の予定の「介護保険事業計画」は、充実した内容の検討とするため、22年度中に検討組織を整備します。 「孤立死防止推進事業」は、22年度中に、必要とされる今後の充実策の方針を検討します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	「高齢者のしおり」については、3年に1度発行するものであり、定期的に正誤表を発行する等、掲載情報の変更に対応します。 「孤立死防止推進事業」は、新たな課題として、地域住民等との協働をどのように模索するかが一つの要因になると思われま。す。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	第5期介護保険事業計画策定のため増加します。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		まちの湯ふれあい入浴		款	4	項	1	目	2	事業	9	整理番号	149						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	142							
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分				既定事業											
事業開始		昭和	▼	49	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は55歳以上の区民				根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱									
事務事業の概要	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）				活動指標名（式）														
	○高齢者同士の親睦を深めることにより、社会参加、交流を広げることができる憩いの場となるようにします。 ○身近である公衆浴場で、まちの湯健康事業に高齢者が参加することで、健康増進が図られ、リフレッシュはもとより、介護予防につながるようにしていきます。				(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数														
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				成果指標 ※（代）＝適当な指標がない場合の代替指標														
○ふれあい入浴事業は、区内の公衆浴場を毎週水曜日（一部火曜日）に、各浴場で決められた時間に入浴料100円で高齢者に開放する。 ○まちの湯健康事業は、高齢者の健康増進を図るため、区内の公衆浴場で月1～2回、太極拳、健康エアロビクス、てぬぐい体操などを行い、実施後、参加者は100円で入浴できる。21年度より、長寿応援ポイントの該当事業となった。				成果指標名（1）		ふれあい入浴1回当りの利用者数		算定式・指標の説明等		年間延べ利用者数÷実施回数		成果指標名（2）		まちの湯健康事業1回当りの参加者数		算定式・指標の説明等		年間延べ参加者数÷実施回数	
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	（目標値）									
指標	活動指標（1）	①	人	37,083	109,920	72,310	108,120	102,335	103,170	99.2	94.6								
	活動指標（2）	②	人	2,632	2,832	3,261	3,264	3,946	4,340	90.9	120.9								
	成果指標（1）	③	件	76	80	54	60	58	64	91.3	97.3								
	成果指標（2）	④	%	7.6	8.0	10.0	10.0	10.4	11.1	93.7	104.0								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	30,086	61,967	60,928	69,892	64,621	63,844	21年度予算執行率%		92.5							
	（内）投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	（内）委託費	⑦	千円	30,052	61,927	60,888	69,852	64,582	63,804										
	職員数（常勤 非常勤）	⑧	人	0.43 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00										
	人件費	（内）常勤職員分（超勤分含）	⑨	千円	3,930	3,620	3,620	3,552	3,552	3,552									
		（内）非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	34,016	65,587	64,548	73,444	68,173	67,396										
	単位あたりコスト （⑪-⑥）÷①	⑫	円	917	597	893	679	666	653										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	8,635	0	0												
都からの補助金等		⑮	千円		8,759	8,759	4,890	4,890	4,890										
その他の補助金等		⑯	千円		0	0													
特定財源計 ⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	8,635	8,759	8,759	4,890	4,890	4,890										
差引：一般財源⑪-⑰	⑱	千円	25,381	56,828	55,789	68,554	63,283	62,506											
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 149

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ふれあい入浴(事業委託) (細)	1751	回	55,156
	まちの湯健康事業(委託) (細)	377	回	9,425	
	その他 (事務費)				40
(2)事業実績	ふれあい入浴回数が、21年度から毎週1回となり、実績は、102,335人でした。まちの湯健康事業は、高齢者向けの太極拳、てぬぐい体操、健康エアロビクス等で、参加者は年々増加し、21年度は、3,946人でした。尚事業は、健康増進の効果が得られ、高齢者の交流にも貢献しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 → 平成22年度 31か所 ・高齢者(65歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 39,699人(7.4%) → 平成22年度 104,233人(19.33%)			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ふれあい入浴が毎週あるので、行きやすくなった。 70歳以上ですが、まちの湯の健康エアロビクスは長く続けています。参加者との語りも楽しみのひとつです。			
	今後の予測	高齢者人口は、今後とも増加していくので、ふれあい入浴、まちの湯健康事業に対するニーズは一層高まっていくと思われませんが、公衆浴場の新規開業は難しく、廃業、休業が予測されるので利用人数は、伸び悩むと思われま			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 身近にある公衆浴場を利用し、仲間づくり、健康増進ができるのは、地域から孤立しがちな高齢者にとって、安心やいきがいを感ずることに大きく貢献しているといえます。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	ふれあい入浴、まちの湯健康事業のをポスター、チラシ等に工夫を凝らし、多くの人々に周知できるよう、積極的にPRをしていきます。まちの湯健康事業は、長寿応援ポイントを活用して、今後より多くの人々の利用が見込まれます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	高齢者の幅広い利用を推進するためにも、ふれあい入浴は、利用しやすい金額である100円が望ましいと考えるため、受益者負担は現状どおりとします。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	1回あたりの委託料は、公衆浴場の入浴料金の差額と利用者数を基礎に算定しており、入浴料金や受益者負担額、利用者数を組合と見直す必要があります。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	ふれあい入浴とまちの湯健康事業は、高齢者の社会参加と交流を高めるという目標で貢献しているだけではなく、気軽に利用できるという点で、高齢者の孤立化を防ぐ役割も担っていると言えます。まちの湯健康事業は、年々増加の傾向にあり、21年度より長寿応援ポイント事業を活用し、今後も一層ニーズが高まると予想されます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	21年度より、ふれあい入浴が毎週1回になり、利用人数は増加しましたが、計画人数までには達しませんでした。達しなかった主な原因は、21年度に4浴場の廃業によるものです。健康事業は、昨年と比べ約700人ほどの参加増となり、今後も増える見通しです。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	実態調査などを積極的に行い、事業の充実、利用者のニーズ、安全面などを浴場組合と話し合っていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	まちの湯健康事業では、狭少スペースによる利用人数の制限など、各浴場により制約等ありますが、一部予約制するなどし、各浴場にあつた対応が考えられるので、今まで以上に浴場組合との連絡調整をしていきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	対象が、年々増加していく高齢者であることから、今後、必要性が高まっていくと思われるので、補助を継続していきます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		風呂つと杉並		款	4	項	1	目	2	事業	10	整理番号	150	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	143		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			50歳以上の区民		根拠法令等		(1) 杉並区風呂つと杉並事業補助金交付要綱 (2)					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○健康増進や生きがいを目的とした50歳以上の高齢者の自主グループに対し、浴場がグループの地域活動拠点となるように、高齢者の交流を推進していきます。			活動指標名(式)		(1) 風呂つと杉並事業を実施する浴場数 (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区内の公衆浴場を50歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂つと杉並事業(杉並浴場組合自主事業)に要する経費について、運営費を補助する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 1所あたりの1か月の利用者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	所	17	18	14	16	13	17	76.5	81.3			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	人	15	18	16	16	17	18	95.6	107.5			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	7,571	4,720	3,381	4,720	2,965	4,320	21年度予算執行率%			62.8	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 実施浴場の廃業と、利用グループの高齢化による利用減のため、21年度予算執行率が90%を下回りました。				
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.17 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,554	1,358	1,358	1,332	1,332	1,332				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	9,125	6,078	4,739	6,052	4,297	5,652					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	536,765	337,667	338,500	378,250	330,538	332,471					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	4,544	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		2,360	2,360	2,360	2,360	2,160					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	4,544	2,360	2,360	2,360	2,360	2,160					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	4,581	3,718	2,379	3,692	1,937	3,492					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 150

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
			風呂つと杉並 事業運営費助成(執)	13	所
	(2)事業実績	21年度は、1所当たりの利用人数は、増加しましたが、実施浴場が1箇所廃業し、また利用されていたグループが高齢を理由に活動を休止したため、利用実績は減少しました。今回、年間371回の利用があり、内容は、太極拳、カラオケなど多種に渡り利用されています。			
事業環境 の 変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 → 平成22年度 31か所 ・風呂つと実施浴場 13年度 9か所 → 22年度 13か所			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	近所なので集まりやすい。気軽に利用できるのがいい。			
	今後の予測	1箇所実施浴場が増える予定です。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)	高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点とすることで、高齢者の社会参加、交流の拡大に貢献しています。			
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	より多くの人に周知できるよう、ポスター作成など浴場組合に働きかけていきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	浴場組合の自主事業です。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	実施回数が多くなるほど、浴場組合の持ち出しが多くなります。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	浴場というわかりやすい場所であること、平面のスペースで利用しやすいことも利点ですが、高齢者にとって見守ってくれる目があるということは、なによりも安心であると思われます。 まだ利用していない高齢者のグループにいかに周知していくことが今後の課題です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	浴場組合が風呂つと杉並のPRポスターを作成しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	いきいきクラブ等の老人クラブに周知したり、庁内、ゆうゆう館等にPRポスターを貼り、新たなグループに周知できるようにします。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	各浴場が、ふれあい入浴やまちの湯健康事業の参加者に積極的にPRするよう、浴場組合に働きかけます。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理 由	高齢者にとって、公衆浴場は入浴だけではなく、コミュニケーションの場にもなる身近な存在であり、そこでのグループ活動によって安心感を得ることができる本事業の必要性は高まっていくと予測されるため、補助を継続していきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		いきいきクラブの支援		款	4	項	1	目	2	事業	11	整理番号	151		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	144				
上位施策No・施策名										30	高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分	既定事業	
事業開始		昭和	▼	33	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等								
杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会		(1) 老人福祉法第4条、第13条2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱													
事務事業の概要	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		活動指標名(式)												
	○クラブ会員一人一人が社会貢献活動やいきがい活動を積極的におこない、高齢期をいきいき元気に生活できるようにします。 ○クラブ連合会及び各クラブの活動の活性化と、会員増加を支援します。		(1) いきいきクラブ加入者数 (2)												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
○81団体のいきいきクラブの、社会奉仕活動・友愛活動・生きがい活動・健康づくり等のクラブ活動に対して各クラブの会員数を考慮し助成する。 ○全クラブが加入している連合会の各事業の運営費を助成する。		成果指標名(1)		いきいきクラブ加入率		算定式・指標の説明等		いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口×100				成果指標名(2)		1ヶ月のボランティア活動回数(クラブあたり)	
		算定式・指標の説明等		ボランティア活動回数÷全クラブ数÷12月											
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)	①	人	7,317	8,000	7,051	8,000	6,778	7,000	96.8	84.7				
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③	%	5.5	5.8	5.4	5.9	5	6	83.3	84.7				
	成果指標(2)	④	回	18.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	75.0	75.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	29,562	31,041	29,189	30,896	27,948	29,906	21年度予算執行率% 90.5					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	0	28	0	28	0	21						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.75 0.00	0.68 0.00	0.70 0.00	0.65 0.00	0.65 0.00	0.65 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	6,855	6,154	6,335	5,771	5,771			5,771			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	36,417	37,195	35,524	36,667	33,719	35,677						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	4,977	4,649	5,038	4,583	4,975	5,097						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0			
		国からの補助金等	⑭	千円	3,235	0	0	0	0			0			
都からの補助金等		⑮	千円		3,305	3,165	3,300	3,095	3,200						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	3,235	3,305	3,165	3,300	3,095	3,200						
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	33,182	33,890	32,359	33,367	30,624	32,477						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 151

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	いきいきクラブ助成金(細)	81	団体		27,446
	福祉大会及びスポーツ大会分担金(細)	1	団体		400
	指導者研修会及び都市交流懇談会(執)	1	団体		100
	その他(需用費)				2
(2)事業実績	○いきがい活動、友愛訪問活動、社会奉仕活動を81クラブが実施しました。 ○福祉大会 7回 ○スポーツ大会 9回 ○東吾妻町との交流会、映画会2回、カラオケ大会 ○会員の高齢化が進み、役員の後継者がいない状況のクラブもあり、3団体が解散となりました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和33年→3クラブ(60歳以上29,907人)で開始。 平成5年→96クラブ、会員数12,071人(60歳以上95,172人)(会員数のピーク) 平成10年→100クラブ、会員数11,606人(60歳以上107,118人)(クラブ数のピーク) 平成22年→80クラブ、会員数6,459人(60歳以上137,204人) 平成21年4月1日から国の老人クラブ活動等事業実施要綱及び都の老人クラブ運営要綱が改正され、1クラブ当たりの会員数を「50名以上」から「30名以上」となり、併せて杉並区いきいきクラブ運営基準も変更しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	一人暮らしの親の親族から、引きこもり防止の活動場所として、いきいきクラブが期待されています。			
	今後の予測	60歳以上の対人口比率が26%を超えましたが、会員数の比率は減少し続けています。60代高齢者の入会がほとんど無いため、更に減少が続くと思われます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	区内全域にわたって設立されているクラブの活動により、広範囲にわたる高齢者の社会参加が促され、地域の福祉貢献や高齢者の生きがい活動を支援する役割を果たしています。また、区の高齢者施策を広く周知する役割を担っています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	会社を退職した高齢者で地域に貢献したいという方も多く、各クラブが社会貢献活動や友愛活動を通して、クラブへの理解を深め、会員数増加を図ります。区は広報等を利用しクラブのPRを行い支援します。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	各クラブは会員費を徴収し活動しています。			
(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	活動内容によって助成額に差をつけることがコストの縮減のひとつの方法です。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	○友愛活動を積極的に行い、地域の一人暮らしの高齢者の見守りを行っています。また、区のわが町クリーン大作戦やあんしん協力員に多くのクラブ会員が参加するなど、区の施策に貢献しています。 ○平均年齢が79.3歳と高齢化が進み、役員の後継者の不足、病気等による会員数の減少が新規の会員増加を大きく上回っています。今後のクラブの運営維持に対して、杉いき連会長と対策の検討、支援を行います。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	会長ひとりですべてをまかなっているクラブが多数あり、その会長が病気等で倒れた場合、クラブ運営が立ち行かなくなってしまうため、いきいきクラブ連合会や、地域クラブ連合会が積極的に支援しています。また、解散した場合でも他のクラブが会員を受け入れるような体制を整えてきました。現状ではクラブの解散、会員の減少傾向に成果が出ていません。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	一部のクラブでは会員を増やしており、その取り組みを他のクラブにも紹介して、高齢者の入会を促します。また、長寿応援ポイントに参加しているクラブも多く、長寿応援ポイントを活用して会員増につなげていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	連合会や各クラブ会長レベルでは、会員の勧誘に積極的ですが、各活動においては、いろいろな制約があり、新規の加入は簡単ではありません。区では長寿応援ポイントの活用を勧めるなど、多くの高齢者が仲良く活動できる場を提供していきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	現状の助成金は、クラブの規模とクラブの活性化を支援する方針で、配分を見直します。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		シルバー人材センター支援		款	4	項	1	目	2	事業	12	整理番号	152	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1166		昨年度整理番号	145		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	54	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援します。		活動指標名(式)		(1) 就業実人員数 (2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 延べ受託件数 算定式・指標の説明等 月単位で実績のあった受託件数の累計 成果指標名(2) 会員の就業率 算定式・指標の説明等 就業実人員数÷月平均会員数								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	人	1,875	1,982	1,895	2,030	1,908	2,082	91.6	94.0			
	活動指標(2)	②	人	2,693	2,800	2,695	2,900	2,869	3,000	95.6	98.9			
	成果指標(1)	③	件	16,454	19,667	16,639	21,357	17,108	23,197	73.8	80.1			
	成果指標(2)	④	%	69.9	70.8	70.0	70.0	69.2	69.4	99.7	98.9			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	166,637	173,532	168,789	175,786	165,828	175,277	21年度予算執行率%		94.3		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,285	2,263	2,263	2,220	2,220	2,220				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	168,922	175,795	171,052	178,006	168,048	177,497					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	90,092	88,696	90,265	87,688	88,075	85,253					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	12,495	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		12,495	12,495	12,495	12,495	12,495					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	156,427	163,300	158,557	165,511	155,553	165,002					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 152

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み	シルバー人材センター運営助成(細)			160,828
	※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目				
		その他 (シルバー人材センター運用資金貸付金)			5,000
	(2)事業実績	○補助金交付4月・10月 計2回 ○貸付金交付4月 計1回 ○定期総会(5月・3月)計2回 ○定例理事会(毎月)計12回 ○事業周知支援(広報すぎなみ掲載)年間計58回 ○スイス人留学生が活動に参加 ○事業収入額 942,095千円 ○ゆうゆう館協働事業運営 ゆうゆう浜田山館・和泉館			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○総人口(区)に占める60歳以上の区民の割合:昭和54年 8.57% ⇒平成22年4月 25.6% ○シルバー人材センター会員数: 昭和54年度 1,280人⇒平成21年度末 2,869人			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	会員数の増加とともに、会員の就業に対する考え方も多種多様になってきています。そのため、自分の希望する仕事に就業することができないという苦情があります。			
	今後の予測	今後ますます事務系職種に就業希望する会員が増えるが、関係機関と連携して研修・講習等の充実を図り、就業の在り方や就業環境の整備に努め、多種多様な就業機会の確保、事業開拓がよりいっそう求められます。多様化する家庭からの発注ニーズには、就業会員の交流会で対応の充実を図ることが重要となります。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会等を提供することで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの面で大きく貢献しています。「いきいき元気に生涯現役」を目標とする区として、その支援は重要な施策です。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)				
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		「中長期計画」に定めたビジョン、基本指針、中期計画に基づいた着実な事業の推進を図り、様々な職種の開拓、拡大により会員数、就業者数の増加を図ります。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		該当しません。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)		中長期的に、会員数、就業者数、契約件数、契約金額の増加等により法人全体としての経営状況が安定すれば補助金額を削減することができます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		シルバー人材センターの広報、説明会等の取組みの結果、受託件数、就業人員が増加しました。また、利用者のアンケート結果から会員研修の充実などによるサービスの質が向上しました。しかし昨今の景気停滞の影響が、シルバーの事業収入減少にも現れています。今後は、さらに就業希望者の増加に対応すべく、就業相談や就業先開拓など新たな取組みについて区は支援していきます。区との協働事業としてゆうゆう館2館の運営に関わり、地域社会への貢献事業を積極的に実施することで公益性を念頭に置いた経営に努めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	昨年に引き続き公共バス車中アナウンスポスターによる事業PRや、郵便局分局(9ヶ所)へグッズ(媒体)を通じて会員の拡大に努めました。スイス人留学生との活動交流の新聞記事掲載もPRに大きく貢献しました。各イベント会場への会員の手作り作品の販売進出などの新規事業に積極的に取り組みました。また、引き続き、接客研修などを実施し、接客態度の向上に取り組んだ結果、「お客様満足度調査」において概ね高い評価を得ましたが、駐車場や駐輪場の管理で満足度の割合が下がっています。会員打ち合わせ会等に報告し、改善が必要です。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成23年4月に向け新たな法人格(公益社団法人)の取得準備を進め、スムーズな公益法人移行を目指します。様々な媒体を通じて事業のPR活動を行い、地域及び区民ニーズに適した仕事を提供してお客様の満足度向上を図ります。会員の就業能力の向上と会員相互の交流を進め、活力ある地域社会づくりに寄与する公益法人として活躍できるよう、支援を行っていきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	会員の増加と実就労率を高めるためには人気の高い事務系職種の開拓拡大が急務ですが、一般企業側の求人需用は以前として小さいのが現状です。事業PRを継続して行うとともに、公益法人格を取得し、対外的な信頼度を向上させ、会員の完成度の高い仕事の履行、接客態度の向上による顧客獲得に地道に取り組む必要性があります。								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	シルバー人材センターが、引き続き公益性と収益性のバランスの取れた経営ができるよう支援します。平成23年4月からの公益法人格の取得のためにも公共からの受託事業や、区等からの補助金に依存しない事業運営ができる財政基盤をつくることのできるよう「中長期計画」に基づいた安定した事業運営を図るために前年度程度の補助金等の支援をします。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者いきがい活動支援		款	4	項	1	目	2	事業	13	整理番号	153		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	146				
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分		既定事業									
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	1	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) イベント・事業参加者数 (2) 高齢者いきいき事業協働参加実施団体数									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
○高齢者活動支援センターやゆうゆう館で、高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン教室等の講座を地域のNPO法人・団体等と協働で開催する。 ○高齢者活動団体のネットワークづくりを図るため「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」を開催する。 ○社会貢献意欲のある者に、技術・技能取得講座を開催し、修了後に、社会貢献スタッフとして登録し、講師の要望のあったグループ等に派遣する。 ○杉の樹大学をNPO法人に委託し開催する。		成果指標名(1)		ゆうゆう館協働事業の1館あたりの年間参加者数		算定式・指標の説明等		52, 372人 ÷ 23館							
成果指標名(2)		社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数		算定式・指標の説明等											

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	回	36,740	37,000	50,576	60,000	65,130	80,000	81.4	108.6	
	活動指標(2)	②	回	22	25	24	30	31	35	88.6	103.3	
	成果指標(1)	③	人	1,870	2,000	2,522	2,700	2,277	3,000	75.9	84.3	
	成果指標(2)	④	人	270	300	256	400	486	500	97.2	121.5	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	15,168	8,278	6,590	22,514	22,025	8,357	21年度予算執行率% 97.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○活動指標(1)の増加は、ゆうゆう館協働事業の開催回数と健康事業の開催箇所・開催回数の増加による。		
	(内)委託費	⑦	千円	0	4,402	4,141	6,583	6,551	6,655			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.80 0.00	1.85 0.00	1.88 0.00	1.85 0.00	1.90 0.00	0.90 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	16,452	16,743	17,014	16,426	16,870			7,991
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	31,620	25,021	23,604	38,940	38,895	16,348			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	861	676	467	649	597	204			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等	⑭	千円	5,694	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	/	3,275	4,139	11,265	11,266	4,177			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	5,694	3,275	4,139	11,265	11,266	4,177			
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	25,926	21,746	19,465	27,675	27,629	12,171			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 153

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	ゆうゆう館いきがい活動支援事業(細)	189	回	14,753
		杉の樹大学(執)	1	所	3,777
		高齢者のための起業支援・就業支援(細)	1	所	2,774
		杉の樹ホール事業(細)	49	回	265
		その他 (社会貢献スタッフ派遣、高齢者いきいき事業協働推進連絡会)			456
(2)事業実績	○ゆうゆう館では、NPO等と協働事業実施館が7館増え累計23館になりました。各団体の特徴を生かした講座を開催し、来館者が増加しています。○てぬぐい体操など高齢者向けの健康事業の参加者が増加しています。○第26回杉の樹大学は49名の卒業生を送り出しました。各年の卒業生がグループで活動を続けています。○ゆうゆう高円寺南館で、就業・起業を支援する講座51回及び相談事業115人を21年5月から実施しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成20年18.68%、平成22年19.33%			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○健康事業は定員以上の集客があり、実施回数の増加や定員などについて見直しの要望があります。○杉の樹大学は好評で毎年学生を輩出しているが、募集人数の増加などについて見直しの要望があります。○一人暮らしや、家に閉じこもっている方の外出支援策として、多くのメニューを用意するよう期待されています。			
	今後の予測	○区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成20年 99,589人(18.63%)平成22年 104,233人(19.33%)○高齢社会が進む中、地域でいきがい、社会貢献活動を希望する方、健康事業、介護予防、認知症予防に関心が高まると予想されます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	○健康やIT関係などへの多数の参加者があり、健康に対する関心、学習意欲の高まりが確認されます。また地域活動団体相互の交流、情報交換が積極的に行われ、高齢者向きの新しい活動機会が提供されました。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	○地域のNPO法人や団体が主体的に事業運営できるよう、広報や長寿応援ポイント事業を活用するなどの環境整備をします。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	○事業は受講者からの受講料をいただくものと無料のものがあります。講座内容によっては受益者負担を少なくし広く参加者を募集します。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	○魅力ある事業の実施と広報PRなどで、参加者が増えれば一人当たりコストが削減できます。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[その他]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題		○高齢者が行政サービスの受手としてだけでなく、地域の中で経験や能力を最大限活し活躍できるよう、社会貢献スタッフ事業の見直しや、ゆうゆう館の環境整備を引き続き行います。○いきがい活動、健康事業、生涯学習など多種多様な講座等が実施され、年々事業参加者数が増加している一方で、自主活動を行う団体の活動場所の確保が困難となってきています。○多種多様な高齢者のいきがい支援について、区が実施すべきことと、地域の団体や事業者が実施すべきことを、今後さらに明確にしていきたいと思います。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	○22年度は、ゆうゆう館協働事業を実施するための備品購入費、消耗品費は、「ゆうゆう館の運営」事業に移管しました。○「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」の自主運営が定着してきました。○ゆうゆう館の健康事業は、外部からの講師と社会貢献スタッフで事業を開催し参加者数の増加を図りました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	○高齢者いきいき事業協働推進連絡会を年3回開催し、高齢者に対応する事業についての情報提供、課題を検討します。○可能なかぎり健康事業はゆうゆう館協働事業に移行し、社会貢献スタッフの活動の場として検討します。また、参加者による自主グループ化の可能性を図り社会貢献スタッフを紹介します。介護予防事業と連携し、活動内容を見直します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	○健康事業をゆうゆう館の協働事業に移行するためには、ゆうゆう館事業者・講師・事業参加者の共感と信頼を得て、事業展開することが課題です。このため、ゆうゆう館の地理的状態や地域住民の状況を把握し理解することが不可欠です。健康事業から参加者と講師による自主グループの立ち上げは、地域の団体と競合しないことも重要と認識し、ゆうゆう館との協力体制を確立できるように指導、助言をします。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	○健康事業を終了する方針に基づいて、社会貢献スタッフのあり方について検討します。○杉の樹大学の委託内容、委託方法を検討します。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者活動支援センター事業運営		款	4	項	1	目	2	事業	32	整理番号	172				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	施設担当係			連絡先電話番号	1152		昨年度整理番号	164					
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業					
事業開始		昭和	▼	58年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会設置要綱										
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○スポーツ活動(ゲートボール)を通して高齢者の社会参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図る。 ○健康相談の実施により、高齢者の健康的な生活のサポートを行う。 ○運営協議会を設置し、区民の代表である委員からの意見を施設運営に反映させる。		活動指標名(式)		(1) ゲートボール登録団体数 (2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を運営する。 ○高齢者活動支援センターの管理運営について、区民の意見を反映させるため、杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会を設置し、会議を開催する。 ○高齢者の健康保持や生活全般に関する相談業務等を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) ゲートボール場利用率 算定式・指標の説明等 利用可能枠数÷利用回数×100 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%		計画に対する21年度の達成率%						
区分		単位		実績		計画		実績		計画		実績		目標値(目標値)			
指標	活動指標(1)		①	団体	20	21	20	21	20	21	95.2	95.2					
	活動指標(2)		②														
	成果指標(1)		③	%				60.00	49.51	60.00	82.5	82.5					
	成果指標(2)		④														
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	429	495	371	509	355	447	21年度予算執行率%		69.7				
	(内) 投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○平成20年度実績までは、1週間に1回以上利用した団体数を成果指標としていたが、平成20年度に100%となったため、平成21年度実績からは利用率を成果指標とする。 ○施設保守管理委託費が当初予定した金額よりも低額で契約できたことや高齢者活動支援センター運営協議会の委員欠席により謝礼金額が減少しました。そのため、21年度予算執行率が90%を下回りました。						
	(内) 委託費		⑦	千円	260	260	258	274	203	266							
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.66 0.40	0.68 0.40	0.42 0.15	0.42 0.20	0.42 0.20	0.42 0.10							
	人件費		(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	6,032	6,154	3,801	3,729	3,729					3,729		
			(内) 非常勤職員分	⑩	千円	1,108	1,120	420	559	559					279		
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	7,569	7,769	4,592	4,797	4,643	4,455							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	378,450	369,952	229,600	228,429	232,150	212,143							
	財源		受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0		
			国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0		
			都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0					0		
			その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0					0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)			⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	7,569	7,769	4,592	4,797	4,643	4,455								
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 172

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				高齢者ゲートボール場清掃等委託	1
		杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会委員謝礼	19	人	114
		健康相談	1	年	12
		その他 (光熱水費ほか)			26
	(2)事業実績	○高齢者ゲートボール場の維持管理、団体利用抽選などを実施しました。 ○杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会を2回開催しました。 ○年間を通して、高齢者の健康相談等を実施しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。平成20年度には20団体に増加しました。平成21年度も20団体となっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会からは、施設の老朽化とともに備品や消耗品類も老朽化が進んできており、施設の修繕や備品等の新規購入等に対する要望があります。また、高齢者活動支援センターの大規模改修が決定したことで、新しい施設への期待が寄せられています。			
	今後の予測	高齢者人口が増加するとともに、スポーツなどを通じた社会参加の機会の拡充や健康相談などを希望する高齢者が増加していくと予測されます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)	長寿社会の進展の中で、今まで以上に生きがいづくり、健康保持の場として期待が寄せられています。			
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	他のスポーツにも対応できるよう、施設整備を考えていく必要があります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	ゲートボール場の施設は、将来的には自主管理の方式にすることが望ましいと考えられますが、当面は、自主的な会費等の中から、活動に必要な経費(消耗品購入等)を負担してもらう方向で理解を求めていく必要があります。			
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	現在の経費は必要最小限となっているので、これ以上の削減は困難です。				
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		高齢者ゲートボール場の運営では、スポーツ活動を通じて高齢者の健康増進、社会参加の支援が、また、健康相談業務では、高齢者の健康面や生活全般に関する支援ができました。高齢者活動支援センター運営協議会では、施設事業運営の問題点や課題、これから予定されている大規模改修工事について討議しました。いずれも、長寿社会の進展に対応した事業運営が求められている事業ですので、引き続き利用対象となる区民や協議会委員等の意見が反映された、利用者本位の事業運営を実施していきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 高齢者ゲートボール場については、昨年度と同様の運営とし、消耗品類については団体の自己負担の理解を求めました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の登録団体等の組織強化を図り、完全自主管理の高齢者ゲートボール場運営を目指します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の高齢者ゲートボール場の登録団体は、連合体として活動できる組織力に欠けることです。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由 高齢者ゲートボール場の運営については、基本的には現行どおりとし、消耗品類の自己負担への理解を求めていきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ゆうゆう館の運営		款	4	項	1	目	2	事業	33	整理番号	173	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	施設担当係			連絡先電話番号	1152		昨年度整理番号	165		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業		
事業開始		昭和	▼	38	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法								
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○NPO法人等の公共的な団体との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を図る。		活動指標名(式)		(1) 協働事業実施館数 (2)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等の公共的な団体に委託する。 ○効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。 ○新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 協働化率 算定式・指標の説明等 協働事業実施館数÷ゆうゆう館数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	① 館	15	16	16	23	23	28	82.1	100.0				
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③ %	48.00	52.00	52.00	72.00	72.00	88.00	81.8	100.0				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	134,403	143,777	134,437	186,802	173,417	219,957	21年度予算執行率%		92.8			
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦ 千円	134,271	143,169	134,267	186,494	173,273	211,273						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.62 0.04	0.61 0.04	0.96 0.23	0.99 0.29	0.96 0.23	0.96 0.50						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	5,667	5,521	8,688	8,790	8,524	8,524					
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	111	112	644	810	642	1,397					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	140,181	149,410	143,769	196,402	182,583	229,878						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫ 円	9,345,400	9,338,125	8,985,563	8,539,217	7,938,391	8,209,929						
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮ 千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯ 千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	140,181	149,410	143,769	196,402	182,583	229,878						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 173

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	ゆうゆう館受付等業務委託(うち協働事業館23館)	23	館		173,153
	ゆうゆう館評価委員会開催	3	回		132
	ゆうゆう館選定委員会開催	3	回		132
	その他 ()				0
(2)事業実績	平成19年度にゆうゆう館協働事業を開始した5団体の本格評価を実施しました。また、平成22年度から、ゆうゆう館協働事業を開始する6団体を選定しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	受付等業務委託館は、平成18年度に16館(うち協働事業館9館)で行っていました。平成21年度は23館(うち協働事業館23館)になりました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	館の管理運営については概ね順調に行われています。また、受託団体の接客姿勢についても満足しているとの意見もいただいています。また、夜間利用を実施するなどのサービスの拡大も図り、利用者数は順調に増加しています。ただし、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での活動ができなくなったなどの苦情も寄せられています。			
	今後の予測	ゆうゆう館全館で、NPO法人等との協働化を図っていきます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	長寿社会の進展の中で、ゆうゆう館の果たす役割・機能が大きく注目されています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策	ゆうゆう館全館においてNPO法人等との協働化を目指すためには、必然的に受付等業務の委託料を増加させる必要があります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	協働事業の参加者にはある程度の負担を求めることは可能ですが、生涯現役社会の地域拠点として、一人暮らし高齢者や引きこもり高齢者なども視野に入れた施設運営においては、利用者に負担を求めることは困難です。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	ゆうゆう館の受付等業務は、必要な人員配置をすることが基本であるため、現行の委託料等の削減は困難です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	ゆうゆう館の施設運営が、効率的でかつ魅力あるものとしていくため、NPO法人等との協働を進めました。21年度には、32館中23館が協働事業館となりました。また、平成19年度に開始した協働事業実施団体の本格評価を実施するとともに、新たな協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催しました。今後も、ゆうゆう館の協働事業が一定の水準をもって継続できるよう、またさらなる質の向上が図れるよう、必要な評価を実施していきます。また、全館でのNPO法人等との協働化を目指し、新たな協働事業提案の募集を行います。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成21年度には、新たに7館でゆうゆう館の協働事業が始まり、32館中23館が協働事業館となりました。また、平成19年度からゆうゆう館の協働事業を開始したNPO法人等に対する評価を実施しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成22年度までに、ゆうゆう館全館での協働化を目指します。また、ゆうゆう館協働事業及びその実施団体の質と力量等の向上のため、必要な評価を実施します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	ゆうゆう館全館での協働化を目指すためには、その受け皿となるNPO法人等の実施団体の質と力量等の向上を図る必要があります。そのため、新規団体向けに、21年度まですぎなみ地域大学において、ゆうゆう館運営受託講座を開講。また、既存の協働事業実施団体には、必要な評価を実施するとともに、各団体でどのような協働事業を実施しているかなどの情報交換の場として公開事業報告会などを実施します。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	ゆうゆう館におけるNPO法人等との協働化を推進するためには、必然的に委託料は増加します。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		三療サービス		款	4	項	1	目	2	事業	34	整理番号	174	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	166			
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	48	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例 (2) 杉並区三療サービス事業実施要綱					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにします。 ○診療所を持たない視覚障害者に就労の場を確保します。						活動指標名(式) (1) 三療サービス利用者数 (2)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○高齢者活動支援センター及びゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 代)利用率 算定式・指標の説明等 利用者数/60歳以上の区民×100 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	人	7,481	7,700	7,801	8,100	7,862	8,100		97.1	97.1		
	活動指標(2)	②	人											
	成果指標(1)	③	%	5.9	5.9	6.0	6.0	5.9	5.9		99.3	97.2		
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	12,737	13,851	13,178	13,851	13,539	13,854	21年度予算執行率%		97.7		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	11,054	13,505	12,931	13,505	13,212	13,508					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.38 0.00	0.35 0.00	0.35 0.00	0.35 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,473	3,168	3,168	3,108	2,664	2,664				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	16,210	17,019	16,346	16,959	16,203	16,518					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	2,167	2,210	2,095	2,094	2,061	2,039					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	5,930	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		6,363	6,358	6,363	6,364	6,363					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	5,930	6,363	6,358	6,363	6,364	6,363					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	10,280	10,656	9,988	10,596	9,839	10,155					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 174

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				ゆうゆう館事業委託(細)	5193
		高齢者活動支援センター事業委託(細)	2669	人	1,101
		その他 (需用費、役務費)			1,939
	(2)事業実績	ゆうゆう館では月1回又は2回実施し、1回平均10.8人の方が施術を受けました。高齢者活動支援センターでは年300日実施し、1日平均8.9人の方が施術を受けました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ゆうゆう館 13年度4,309人 17年度4,787人 21年度5,193人 高齢者活動支援センター 13年度2,288人 17年度2,744人 21年度2,669人
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○施術者の技術にばらつきがあります。施術者を選ぶようにしてください。 ○施術を受ける回数を増やしてください。 ○施術を受けて調子がよくなった、今後も続けてほしいとの意見もありました。 ○利用者アンケートは満足314(内、とても感謝している46)、不満あり25でした。
	今後の予測	利用者の多くが固定化されていますが、新規の利用者も増えています。また、サービス利用対象者も増加し、今後も安定した利用が見込めます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由→)	高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進に一定の役割を果たしています。
(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	施術者の技術・サービスの向上を図ります。
(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	現在700円を徴収して利用者に施術を行っていますが、金額を上げることで利用者の減少につながるおそれがあります。なお、その料金については施術者の収入となっています。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	委託料が個々の施術者の主要な収入源になっており、減額することは困難です。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

評価と課題	おおむね良好な評価を得ていますが、一部の利用者に施術者の技術に差がありすぎるとの意見があります。施術者の技量の差を解消するための研修会等を引き続き実施するよう協議会に要請しました。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ゆうゆう館や高齢者活動支援センターの利用者に広く声かけをおこない、キャンセル時の予備者を確保するなどして僅かながら利用者が増加しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	利用率の低い館に対して、近隣の館から紹介することで、利用率の向上を図ります。そして、昨年に引き続き、三療サービス未利用者への声かけや広報への掲載の増などにより利用希望者を増やします。また、施術者の技術、接遇の向上のために研修の充実を図るよう協議会に要請します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	利用者が増えた場合、ゆうゆう館の利用状況から施術日数を増やすことはできないため、一日の施術回数の増や、施術時間の短縮等の対策が必要になります。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理 由	当面、現行とおりの事業を実施していきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		敬老事業		款	4	項	1	目	2	事業	35	整理番号	175
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	167		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分				既定事業					
事業開始		昭和	▼	27	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条、5条、第13条第1項 (2)							
○75歳以上の高齢者 ○75歳、81歳、100歳以上の高齢者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 敬老会・半寿顕彰式典参加者数 (2) 祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)							
○対象者が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにします。 ○敬老会や地域交流会の開催により地域のこどもたちを含む人々と交流することで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消を図ります。		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 ○敬老会式典と併せて、半寿(81歳)の顕彰式典を開催する。 ○対象者に敬老祝い品を贈呈(戸別配送)する。		成果指標名(1)		敬老会・半寿顕彰式典来場率		算定式・指標の説明等		来場者÷対象者数×100					
		成果指標名(2)		(代) 地域交流会参加者数実績対前年比		算定式・指標の説明等							

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	人	4,332	5,000	4,201	5,000	4,505	5,000	90.1	90.1	
	活動指標(2)	②	人	8,050	8,500	8,306	8,306	8,468	8,480	99.9	102.0	
	成果指標(1)	③	%	9	10	8	9	9	10	85.6	95.1	
	成果指標(2)	④	%	97.0	103.0	107.0	104.0	102.0	103.0	99.0	98.1	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	28,127	35,671	32,057	38,240	34,420	36,555	21年度予算執行率% 90.0		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	⑦	千円	6,510	10,965	10,495	13,151	11,972	11,069			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.44 0.00	1.32 0.00	1.35 0.00	1.35 0.00	1.35 0.00	1.35 0.00			
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,162	11,946	12,218	11,987	11,987	11,987		
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	41,289	47,617	44,275	50,227	46,407	48,542			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	9,531	9,523	10,539	10,045	10,301	9,708			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	⑭	千円	5,116	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		⑮	千円	/	5,141	6,771	7,932	7,117	6,924			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	5,116	5,141	6,771	7,932	7,117	6,924			
差引: 一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	36,173	42,476	37,504	42,295	39,290	41,618				
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 175

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		(2)事業実績	<p>敬老会・半寿顕彰式典開催(執)</p> <p>75歳・81歳祝い品贈呈</p> <p>長寿祝い品贈呈(細)</p> <p>その他 (敬老イベント・地域交流会)</p>	6	回
			8168	人	17,610
			300	人	2,493
					43
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業(敬老会)を開始した当時は娯楽の少ない時代であったが、現在は日常的に趣味や娯楽を楽しめる時代です。75歳以上の高齢者人口(区総人口に対する比率)は、昭和27年2,993人(0.8%)から平成22年の54,767(10%)人へ推移しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	21年度は、75歳・81歳祝い品を自分で選べるカタログギフトを選定したため、苦情は少なく、お礼の電話や手紙が多数ありました。他方で、カタログから選ぶことをわずらわしいと思う方や、区からのお祝い品を不要と考える方の意見もありました。敬老会の開催内容については、歌謡ショーではなく、クラシックコンサートを開催してほしいという声もありました。			
	今後の予測	対象者の増加に伴い、ますますイベントや祝い品に対する価値観の多様化が進みます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)		高齢者の慶事の祝いのための事業であり、区民の期待や関心が高く、高齢者の社会参加や交流の拡大に貢献しています。		
	②成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容→)				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		敬老会や地域交流会などのイベントは全面委託化検討の余地があります。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[対象の縮小](具体的内容→)		慶事の祝いのため受益者負担はなじみません。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	対象者の敬老会の開催内容や祝い品に対しての、価値観の多様化が進んでいます。カタログギフトの贈呈を自分の好みで選ぶことができた点で評価することができます。今後も一人でも多くの方に喜んでいただけるよう、社会情勢の動向をみながら、時代にあった事業全体の内容を検討していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	21年度は、第60回敬老会開催、第10回半寿顕彰式典開催記念として、予算を増額し、2名の歌手を招いて開催しましたが、今年度は1名の歌手とし、予算を削減しました。また、敬老祝い品は、対象者の価値観の多様化に対応できるよう、カタログギフトを採用しました。
(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	対象者の意向を絶えず念頭に置きながら、敬老事業全体の内容を民間事業者、NPO法人等の地域の公益法人や団体等と協働で検討していきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	敬老事業は、全国で定着しており、区内でも期待と関心が高い事業です。対象者を縮小する場合には区民に理解と協力を求める必要があります。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理 由	対象者数の年々増加に応じて予算増加が見込まれます。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		長寿応援ポイント事業			款	4	項	1	目	2	事業	36	整理番号	176	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1166		昨年度整理番号	新		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分				新規事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業 分野		II	政策番号	3	施策番号	①	事業コード	3	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民				根拠法令等		(1) 杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 (2) 杉並区長寿応援ポイント事業運営委員会設置要綱							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○高齢者の社会参加を促進し、「地域貢献」「自己実現・いきがい」につなげると同時に、「健康増進・介護予防」活動を活性化します。高齢者の活動がより活発になり、健康の維持増進と要介護状態になる年齢を遅らせ、さらに、その活動によってお互いや地域のための「支えあい」の活動が進展するようにします。				活動指標名(式)		(1) 活動登録グループ件数 (2) ポイント交換者数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。貯めたポイントは、区内共通商品券との交換及び地域活動団体の助成を行うため新たに設置する長寿応援ファンドへの寄付に活用する。 ○円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営委員会を設置する。 ○業務は民間事業者へ委託する。				成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)週2回以上外出している高齢者の割合 算定式・指標の説明等 区民意向調査による 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①						1,000	923	1,000	92.3	92.3			
	活動指標(2)	②						-	-	2,000					
	成果指標(1)	③	%							89.4	87	102.8			
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円					23,831	20,722	89,327	21年度予算執行率%		87.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円								特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円					14,091	14,063	86,303					①22年度からポイント交換申請を開始するため、活動指標(2)の実績はありません。
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人					1.00	0.00	1.59	0.00	2.00	0.00	②準備段階での委託費が不用になったため、予算執行率が90%以下になりました。	
	人件費	⑨	千円	0	0	0	0	8,879	14,118	17,758					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	0	32,710	34,840	107,085					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円					32,710	37,746	107,085					
	財源	⑬	千円					0	0	0					
	国からの補助金等	⑭	千円					0	0	0					
都からの補助金等	⑮	千円					0	0	16,786						
その他の補助金等	⑯	千円					0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0	16,786						
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	0	0	0	0	32,710	34,840	90,299						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%					0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 176

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	事務運営委託等(細)		
		普及啓発費(細)			1,887
		運営委員会事務費(細)	11	回	372
		長寿応援ポイント事業具体化準備(執) 検討委員会の開催	6	回	240
		その他 ()			0
	(2)事業実績	平成20年11月から平成21年7月まで検討委員会を計11回開催するとともに、関係する区民団体等に説明会を開催しました。8月に活動登録申請を開始し、10月からポイントシール配布を開始しました。年度末の登録活動数は923活動で、参加高齢者は、延21,725人です。登録活動の内訳は、地域貢献活動276件、健康増進・介護予防活動、地域貢献学習195件、いきがい活動452件です。運営委員会2回、活動認定部会7回、ファンド運営部会2回を開催しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成21年度末の65歳以上人口は104,833人で、そのうち介護保険認定者は18,697人です。平成19年の杉並区高齢者実態調査報告書によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は5.0%、週2回以上外出している高齢者は82.0%です。また、生活に生きがいを感じている高齢者は72.9%です。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ポイントが配られることで「張り合いが生まれた」「参加者数が増えた」「参加者の出席率が高くなった」「新しく活動を立ち上げた」等、概ね好評です。一方、参加者で対象外になる人がいるため対象年齢を見直してほしいとの要望やポイントシール管理者の負担が大きいとの意見がありました。			
	今後の予測	増加する高齢者人口とともに、事業参加者も増加する見込みです。事業のシンボルマーク等の作成も検討し、区民に親しまれる事業にする必要があります。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)		60歳以上人口の推定8割(約80,000人)の元気高齢者のうち、延20,000人を超える高齢者が参加しています。区民から寄せられる感想にもポイントを配ることで「活動が活性化している」「いきがいを感じる」との声が多くありました。		
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由→)				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由→)				
(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(3) 協働等の形態 協働[委託]		(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	
	評価と課題		平成21年度は事業を創設し、10月に長寿応援ポイント事業を開始しました。平成22年4月からポイント交換を開始しています。平成22年度は長寿応援ポイントの周知を図り、事業の拡充を図るとともに、長寿応援ファンドの具体的な活用方法を検討し、決定します。		

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 21年度新規事業のため、前年度の改革案はありません。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 参加者人数が多いという点では、施策への貢献度が大きい事業です。しかし、これから新たに活動を始めようとしている個々の高齢者への情報提供が不足しています。平成21年度には活動登録団体を掲載した情報誌を作成、平成22年度は区公式ホームページに掲載するとともに、広報、イベントなどで周知を行います。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 活動登録申請やポイント交換申請方法、ポイントシール管理者へのシール送付及び実績報告等、区民に周知する内容が多義に渡るため、時期にあった内容を簡潔・明瞭に表現することで、高齢者にわかりやすい、丁寧な情報提供を行います。		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 今後も事業に参加しポイントを獲得する高齢者は増え続けることが予想されます。そのため、交換されるポイントが増えるので予算は増加します。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者活動支援センターの維持管理						款	4	項	1	目	6	事業	12	整理番号	243
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課						係名	施設担当係			連絡先電話番号	1152	昨年度整理番号	234		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大						予算事業区分			既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例								
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○多くの高齢者の施設利用によって、相互の交流を活発にし、高齢者の社会参加の機会を拡充を図る。 ○高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たな生きがいづくりや仲間づくりを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。						活動指標名(式) (1) 年間利用者数 (2)									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) センター利用率 算定式・指標の説明等 年間利用者数÷60歳以上区民数×1回×12月 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)							
指標	活動指標(1)	①	人	82,705	86,675	94,733	97,092	101,854	104,390		97.6	104.9					
	活動指標(2)	②															
	成果指標(1)	③	%	7.62	7.62	8.48	9.00	9.00	10.00		90.0	100.0					
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	43,238	69,781	59,328	54,880	42,933	53,282	21年度予算執行率% 78.2							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	15,213	15,047	441	0	0	特記事項							
	(内)委託費	⑦	千円	20,483	43,338	35,521	28,301	21,922	28,453	○平成23年3月は、改修工事に伴う代替施設への引越し作業のため、臨時休館期間が予定されている。							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.77 0.64	0.79 0.53	0.63 0.53	0.67 0.53	0.63 0.53	0.33 0.70	○施設保守管理委託費が当初予定した金額よりも低額で契約できたことやISO14001の推進により光熱水費の支出を抑えることができました。そのため、21年度予算執行率が90%を下回りました。							
	人件費	⑨	千円	7,038	7,150	5,702	5,949	5,594	2,930								
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,773	1,484	1,484	1,480	1,480	1,955								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	52,049	78,415	66,514	62,309	50,007	58,167								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	629	729	543	637	491	557								
	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0								
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0								
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0									
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	52,049	78,415	66,514	62,309	50,007	58,167									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 243

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	建物総合管理委託	1	所	21,744
	光熱水費	1	所	17,269
	建物修繕、消耗品購入等	77	回	3,920
	その他 ()			0
(2)事業実績	高齢者活動支援センターの施設管理(受付業務を含む)に対する委託を実施しました。また、利用者の利便性の向上や施設利用の安全面を確保するため必要な維持管理を行うとともに、消耗品の購入等を行いました。更に、施設の老朽化に伴い、入浴施設などの修繕工事を実施しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年4月から高齢者団体の自主的な活動拠点とするため、事業はNPO法人へ委託し、受付業務を含めた施設管理は、併設の地域区民センターとの総合管理として、民間企業への委託を開始しました。また、老人福祉センターとして開館してから25年が経過し、施設全般で老朽化しています。清掃工場の立替に伴い、平成23年度に施設の改修工事を行い、平成24年度から新たな施設での運用を開始します。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の改修に伴い高井戸地域区民センターや温水プール等も含め、一体的な管理・運営をしてほしい旨の要望があります。また、浴室の有料化を望む要望があります。		
	今後の予測	隣接の杉並清掃工場の建替え工事に伴い、工事期間中は施設を運営するために必要な熱源供給が停止します。高齢者活動支援センター等の大規模改修工事には、それに対応するために必要な設備の設置とともに、これからの長寿社会に対応できる施設への改修が必要となります。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	長寿社会の進展の中で、今まで以上に生きがいづくり、仲間づくりの場として大きな期待が寄せられています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	施設の老朽化に伴う修繕経費等の増加が見込まれます。		
	②成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容→)	指定管理者なども視野に入れた新たな施設運営への移行について検討が必要です。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	杉並清掃工場建設時の和解事項等の経緯や、老朽化が進行している施設の現状から、新たに受益者負担を求めることは困難です。今後、施設の大規模改修後において、指定管理者による運営などの検討と合わせて有料化についても検討する		
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	コストは、施設維持管理に関する経費であり、施設の老朽化が進行している状況から、経費削減は困難です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進		
評価と課題	60歳以上の区民の福祉増進を図り、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動が円滑に行われるよう高齢者活動支援センターの施設・設備の維持管理を行いました。今後、施設の大規模改修に伴い、高井戸地域区民センターや温水プール等の縦割り管理を見直し、建物一体の運営・管理を行うこと、また、これまで高齢者活動支援センターが果たしてきた役割を踏まえたうえで、幅広い年齢層が利用・交流できる施設整備を行う必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減	コスト: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減	
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	施設の大規模改修に向けて、地元住民の代表等も参加した「杉並区立高井戸地域区民センター等改修連絡会」を開催し、施設の運営のあり方や基本設計等について検討を行いました。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設建設時の経緯等を踏まえつつ、施設の大規模改修に合わせ、指定管理者への移行などを視野に入れた新たな施設運営への方策を検討する必要があります。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設建設時の和解事項の取り決め等により、施設用途及び運営方法などに制限があります。また、耐震診断の結果を踏まえての大規模修繕工事のため、設計内容に制約があります。		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ● 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	平成23年度は仮設施設で運営を行います。施設規模の縮小に伴い、建物管理委託費や光熱水費が大幅に減少する見込です。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ゆうゆう館の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	13	整理番号	244
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	管理係 (施設担当)		連絡先 電話番号		2245		昨年度 整理番号	235	
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分		既定事業							
事業開始		昭和	▼	38	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠 法令 等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条							
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点としてゆうゆう館が、高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにする。		活動指標名(式)		(1) 年間延利用者数 (2) 利用団体数(高齢者活動登録団体)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○32館のゆうゆう館を利用者が安全かつ快適に施設の利用ができるよう、施設の維持管理を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)		60歳以上区民のゆうゆう館利用率							
				算定式・指標 の説明等		年間延利用者数÷(60歳以上の区民人口×2回×12月)×100*月2回を標準利用回数とする							
				成果指標名(2)		ゆうゆう館団体用諸室平均稼働率							
				算定式・指標 の説明等		実際の利用数÷利用可能回数							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度 計画 (目標値)		目標値に対 する21年度 の達成率%	計画に対す る21年度 の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	① 人	312,006	312,000	310,357	311,000	367,475	370,000	99.3	118.2			
	活動指標(2)	② 団体	653	733	715	750	876	950	92.2	116.8			
	成果指標(1)	③ %	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	6.00	83.3	100.0			
	成果指標(2)	④ %	45.00	45.00	46.00	47.00	43.00	50.00	86.0	91.5			
総事業費・ コスト把握	事業費	⑤ 千円	65,246	138,797	121,962	117,121	99,783	85,211	21年度予算執行率% 85.2				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	250	59,761	46,004	35,369	19,500	特記事項				
	(内)委託費	⑦ 千円	11,128	89,129	82,141	71,470	56,645	41,655	○浴室等の改修工事及び設計委託では、入札により予算額よりも低い金額で契約できました。更に、ISO14001の推進により光熱水費の支出を抑えることができました。そのため、21年度予算執行率が90%を下回りました。				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	9.65 18.10	9.73 17.80	9.90 17.86	8.90 12.56	9.00 12.81	4.78 6.30					
	人件費	⑨ 千円	88,201	88,057	89,595	79,023	79,911	42,442					
	(内)非常勤職員分	⑩ 千円	50,137	49,840	50,008	35,080	35,778	17,596					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	203,584	276,694	261,565	231,224	215,472	145,249					
	単位あたりコスト (⑪-⑥)÷①	⑫ 円	653	886	650	596	490	340					
	財源	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0					
	受益者負担分	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0					
国からの補助金等	⑮ 千円		0	0	0	0	0						
都からの補助金等	⑯ 千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等	⑰ 千円		0	0	0	0	0						
特定財源計 (⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱ 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑱-⑬)	⑲ 千円	203,584	276,694	261,565	231,224	215,472	145,249						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 244

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				建物保守管理委託	32
		光熱水費	32	館	25,723
		浴室等改修工事	7	館	34,401
		施設修繕・消耗品購入等	173	件	14,981
		その他 (謝礼金ほか)			8,586
	(2)事業実績	ゆうゆう館の利用者が安全かつ快適に施設の利用できるよう、施設の修繕、施設保守管理委託などの維持管理を行うとともに、備品・消耗品などを購入しました。また、入浴事業の終了に伴い、浴室等を小集会室などに改修する工事を7館で実施しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	○事業開始当初から、高齢者の「憩いの場」として敬老会館を設置してきましたが、平成17年9月に策定した「新たな敬老会館のあり方方針」により、新たに「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」の役割・機能を付加し、現在ゆうゆう館として運営しています。 ○NPO法人等との協働による施設運営の拡大により、全館の年間利用者は増加しています。 ○平成19年度に事業開始当初から行っていた入浴事業を終了しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	入浴事業の終了に際し、一部の利用者から苦情がありましたが、多くの利用者からは好意的に受け取られています。			
	今後の予測	NPO法人等との事業運営の協働化の拡大と併せて、これからの長寿社会に対応した施設改修等を進める必要があると予測されます。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 長寿社会の進展の中で、ゆうゆう館の果たす役割・機能が大きく注目されています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	これからの長寿社会に対応した施設改修が必要であり、かつ施設の老朽化等による修繕も今後ますます増加します。			
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	これからの長寿社会に対応した、より有効な施設改修が必要となります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	協働事業の参加者にはある程度の負担を求めることは可能ですが、生涯現役社会の地域拠点として、一人暮らし高齢者や引きこもり高齢者なども視野に入れた施設運営の観点からは、利用者負担を求めることは困難です。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	これからの長寿社会に対応した施設改修が必要であり、かつ施設の老朽化等による修繕も今後ますます増加すると思われます。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、利用者の安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。さらに、浴室等の改修工事による小集会室などの設置や和室の洋室化の改修工事を実施し、館の利便性を高めることができました。今後も、長寿社会の進展に対応した施設となるよう、和室の洋室化などの改修工事や、老朽化した備品等のリース化などを実施していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) ゆうゆう館の協働事業館が1館増加し、32館中23館で協働による施設運営が実現できました。また、和室の洋室化を3館で、浴室等の小集会室化などを7館で実施しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ゆうゆう館全館でのNPO法人等との協働による施設運営を目指すとともに、利用の少ない夜間開館については、中止も含めて活用方法を検討します。また、これからの長寿社会に対応した施設にするため、和室の洋室化や浴室等の小集会室化などの施設改修を段階的に実施します。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の拡大に伴い、既存の高齢者団体との利用競合が発生し、それに対する意見・要望が寄せられています。今後、現在のゆうゆう館の利用率(利用時間)などの見直しを進めるとともに、ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の実施方法などについて再度検討を行います。		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	平成23年度には、5館で浴室等の小集会室化などの施設改修を実施するとともに、老朽化が進む高額な買取り備品等についてリース化を図ります。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ゆうゆう館の改修		款	4	項	1	目	7	事業	5	整理番号	249			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	管理係計画推進担当		連絡先電話番号	1163		昨年度整理番号	243					
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分				投資事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	17	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条									
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○介護予防事業を実施し、地域の介護予防拠点として活用していく。			活動指標名(式)		(1) 介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館数(累計) (2)									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○介護予防拠点としてゆうゆう館を利用するため、ゆうゆう館を改修する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) ゆうゆう館数に対する介護予防拠点機能を持ったゆうゆう館数の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	館	9	14	14	17	17	20	85.0	100.0					
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③	%	24.2	42.4	42.4	51.5	51.5	60.6	85.0	100.0					
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	14,004	30,000	26,210	22,500	18,484	22,500	21年度予算執行率% 82.2						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	14,004	30,000	26,210	22,500	18,484	22,500	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	14,004	30,000	26,210	22,500	18,484	22,500							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.20 0.00	0.30 0.00	0.13 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00	ゆうゆう館数に高齢者活動支援センターも含まれます。ゆうゆう館と高齢者活動支援センターの合計は33館です。改築により介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館も活動指標の館数に加えています(19年度事務事業評価は、その操作をしていないので注意)。20年度は、国への補助申請と実績額に若干の差がありました。						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,828	2,715	1,177	2,042	2,042				2,042			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	15,832	32,715	27,387	24,542	20,526	24,542							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	203,111	193,929	84,071	120,118	120,118	102,100							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等	⑭	千円	14,003	30,000	24,962	22,500	17,603				0			
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	22,500							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	14,003	30,000	24,962	22,500	17,603	22,500							
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	1,829	2,715	2,425	2,042	2,923	2,042							
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者活動支援センターの改修			款	4	項	1	目	7	事業	6	整理番号	250			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	施設担当			連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	新				
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分								投資事業 新規事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条										
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○平成23年度から始まる杉並清掃工場の建替工事に備え仮設熱源を設置するとともに、老朽化した設備の更新、耐震補強工事、諸室の配置や機能の見直しなどを行うことにより、利用者が快適で利用しやすいサービスを受けることができる施設に改修する。			活動指標名(式)		(1) (2)										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○平成21年度に耐震診断及び基本設計を行います。 ○平成22年度に実施設計及び改修中の代替施設の確保を行います。 ○平成23～24年度上半期に改修工事を行います。 ○設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努めます。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 改修工事進捗率 算定式・指標の説明等 設計、工事の進捗 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)							
指標	活動指標(1)	①															
	活動指標(2)	②															
	成果指標(1)	③						50	50	100	50.0	100.0					
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円					5,667	3,948	22,049	21年度予算執行率% 69.7						
	(内)投資的経費等	⑥	千円					5,667	3,948	22,049	特記事項 ○耐震診断及び基本設計の委託では、入札により予算額よりも低い金額で契約できました。そのため、21年度予算執行率が90%を下回りました。						
	(内)委託費	⑦	千円					5,667	3,948	16,100							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人					0.30	0.00	0.30				0.00	0.30	0.00	
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	2,664	2,664	2,664							
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	8,331	6,612	24,713								
	単位あたりコスト	⑫	円														
	財源	受益者負担分	⑬	千円					0	0				0			
		国からの補助金等	⑭	千円					0	659				0			
都からの補助金等		⑮	千円					0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円					0	0	0							
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	659	0								
差引:一般財源		⑱	千円	0	0	0	8,331	5,953	24,713								
受益者負担比率	⑲÷⑪	%					0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 250

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		耐震診断の実施	1	回	2,007
		基本設計の作成	1	回	1,941
		その他 ()			0
(2)事業実績	施設の改修工事に向けて、耐震診断を実施した後に改修基本設計を行いました。また、改修工事の際に、地域住民及び利用者との意見交換をするため、「杉並区立高井戸地域区民センター等改修連絡会」を設置し、4回(6/16,7/29,9/25,3/24)開催し、「高齢者活動支援センター利用者懇談会」を1回(7/23)開催しました。				
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者活動支援センター(旧老人福祉センター)は、昭和58年4月1日に地域区民センターとともに開館しました。竣工からは26年を経過した建物は、配管設備などが老朽化し、耐震基準を下回るなどの改修が必要な状態にあります。また、開館当時に設置していた宿泊施設が廃止され、高齢者需要が高い治療器コーナーの設置が必要になるなど、スペースの有効利用が必要な状況にあります。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	浴室にシャワー室や気泡風呂を設置すること、またトイレの洋式化や囲碁・将棋等ができるスペースの確保が求められています。			
	今後の予測	高齢者施設には、健康増進を助ける機能や多様化する高齢者の活動拠点として有効な施設が求められています。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 高齢者人口の増加と高齢者の活動意欲が向上していますので、活動拠点を整備することは、高齢者の社会参加や交流を深めることに有効です。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	高齢者活動支援センターの改修は、その目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難です。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	高齢者活動支援センターを改修するために、利用者に負担を強いることは適当ではありません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	改修工事については入札で業者を選定しています。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	利用者の満足度向上が期待できる、施設の基本設計を作成することができました。今後は事業費との調整を図りながら改修内容の見直しを行い、実施設計を作成します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成24年度当初にリニューアルした施設が開館できるよう、施設の大規模改修工事を行います。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改修工事を行うにあたり、近隣住民との調整が必要となります。 改修後の施設の運営のあり方について、関係各課及び杉並区高井戸地域区民センター等改修連絡会で検討を行う必要があります。	
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	改修工事が平成23年度に予定されているため。